

ブナ「凶作」で秋もクマに注意!

令和2年9月作成



秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。このため、行楽やキノコ採りなどで人とクマが出会う機会が多くなり、思わぬ事故にあう可能性もあります。

また、今年**はクマの餌となるブナが凶作と見込まれており、今後もクマが出没し続けることが予想されます。**さらに、県内では人身被害が過去10年間で34件発生し、その8割が9月～11月に発生しております。被害にあわないために、次のことに注意してください。

①クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。クマに自分の存在を知らせましょう。

●山や林に入るときや田畑に出るときは、ラジオやクマ鈴、笛など、音の出る物で、人の存在をクマに知らせましょう。

②子連れのクマに注意してください。

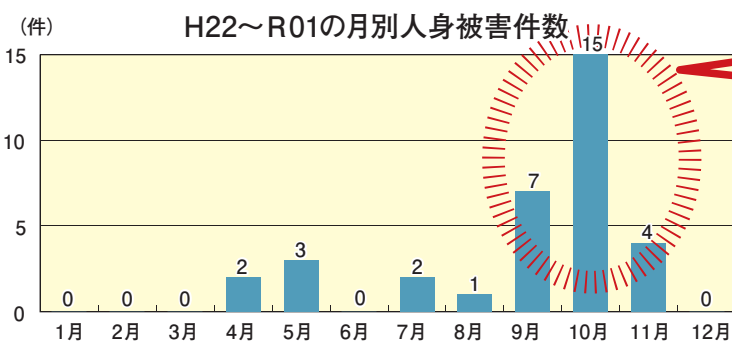
●子グマを見たら、近くに母グマがいて、警戒していると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

③万一、クマに出合ったら、背を向けずに、クマを見ながらゆっくり後退してください。

(クマ撃退スプレーの使用も有効です。)

④餌となる取り残しの果実や家の周囲のハチの巣を撤去してください。

また、餌付けとなる食品や生ごみを放置しないでください。



クマによる人身被害の8割が9～11月に発生しています!

被害にあう時の主な状況

- キノコ採り10件(29%)
- 自宅玄関・小屋で作業中4件(12%)
- 山菜採り4件(12%)
- 森林での作業中2件(6%)
- 散歩中2件(6%)、溪流釣り2件(6%)

【クマに関する情報】

山形クマ

検索



山形県環境エネルギー部みどり自然課

☎023-630-2208

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

山形県におけるクマ出没に対する対応レベル

	状態	参考となる指標等	対応策
警報 レベル	県内で死亡事故発生	死亡事故 (1件) (直近は昭和63年)	体制：総合クマ対策推進チーム会議 対応：なお一層の厳重な警戒
注意報 レベル	県内各地で人身事故発生 (5件)	人身事故 (5件)	体制：総合クマ対策推進チーム会議 対応：厳重な警戒の呼びかけ
注意喚起 レベル	県内で人身事故発生	人身事故 (1～4件)	対応：市町村に注意喚起依頼 報道機関に注意喚起依頼

警戒呼びかけの取組み

手段	内容
ホームページ・SNS メール等による情報発信	①警戒呼びかけ ②出没・人身被害情報の発信
車両等による 広報パトロール	①自治体広報車、防災無線による呼びかけ ②警察・猟友会によるパトロール ③消防・消防団による呼びかけ
広報・学校連絡・その他	①広報誌・回覧板による情報発信 ②学校での呼びかけ、見守り活動 ③関係団体等による呼びかけ

※ 上表の対応レベルに応じ警戒呼びかけの範囲や頻度を拡大。